



東小学校5年生の授業



■小学校調査結果

		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
国語	庄原市通過率	81.3	79.7	73.8	78.3	78.4	81.2
	全国通過率	78.8	74.2	72.7	75.8	74.2	78.7
	全国比(全国=100)	103	107	102	103	106	103
社会	庄原市通過率			83.9	76.5	78.8	74.5
	全国通過率			79.5	75.5	77.1	71.9
	全国比(全国=100)			106	101	102	104
算数	庄原市通過率	92.2	87.1	80.3	80.0	78.2	75.2
	全国通過率	87.5	80.1	78.5	77.8	71.6	70.7
	全国比(全国=100)	105	109	102	103	109	106
理科	庄原市通過率			78.3	79.6	80.6	83.2
	全国通過率			78.5	78.0	78.3	82.2
	全国比(全国=100)			100	102	103	101

「通過率」は、満点を100とした場合の得点の比率を示しています。
 「全国比」は、全国を100とした場合の庄原市の得点率を表した数値として、
 (庄原市得点率÷全国得点率)×100で示しています。

小学校

小学校では、1年生と2年生は国語と算数、3年生から6年生は国語・社会・算数・理科の学力調査を実施しました。全ての学年において、全国の通過率に達しており、全国的に見て、基礎・基本の力が概ね全国平均レベルにあるといえます。

この結果は、各学校の先生がそれぞれの学年の課題や状況に応じた授業改善を進めてきたこと、1時間目の授業前や昼食後の休憩時間を利用してきめ細かく取り組んできたドリル学習などにより、学習内容の定着を促すことができたと考えています。

また、平成16年度から取り組んでいる「ことばの教育」の推進により、各学校では人の話を最後まで集中して聞くことや、話の要点を逃がさず聞いて、大切なことはメモをとることなどを指導しています。これらの取り組みも一定の成果をあげているといえます。

3月に開いた学力向上検討委員会では、朝会で聞き取りメモをとることを継続的に指導することや国語科授業においてワークシートや付箋紙を利用した指導など、「書くこと」を中心に取り組んだ実践によって成果があった実践例が発表されました。

しかし、課題がないわけではなく、

はありませぬ。たとえば理科について詳しく見ると、昆虫の観察や温度計の使い方、地層や化石の学習の定着が全国の通過率を下回っています。今後、理科の授業においては、観察や実験を充実させるとともに、科学研究に取り組むなど、児童の実感を伴った理解につながるよう指導方法の工夫が必要です。

各小学校では、今回の結果を分析して平成18年度の指導方法の改善計画を立てています。平成18年度も引き続き、計画的に基礎・基本の学力向上に向け、取り組んでいきます。

■中学校調査結果

		1年生	2年生	3年生
国語	庄原市通過率	67.7	72.2	67.9
	全国通過率	66.9	74.7	68.2
	全国比(全国=100)	101	97	100
社会	庄原市通過率	56.0	59.4	61.2
	全国通過率	57.2	60.7	65.9
	全国比(全国=100)	98	98	93
数学	庄原市通過率	58.6	53.8	64.3
	全国通過率	58.1	57.7	66.5
	全国比(全国=100)	101	93	97
理科	庄原市通過率	61.6	63.5	69.7
	全国通過率	63.8	69.7	74.9
	全国比(全国=100)	97	91	93
英語	庄原市通過率	69.3	58.5	63.8
	全国通過率	66.3	62.2	62.0
	全国比(全国=100)	105	94	103

定着に課題がありました。基礎的な内容の定着に向けて、検討する必要があります。

英語科では1年生と3年生は全国平均を上回りましたが、2年生では「書くこと」について定着が不十分であるという結果が出ています。

3学年の中では、2年生が全国比を上回る教科がありませぬでした。各学校では平成18年度の3年生について義務教育の総まとめの年と位置づけ、基礎・基本の確実な定着に向けて取り組んでいきます。

おわりに

庄原市では今年も先生と教育委員会と一緒に、「庄原市児童・生徒学力向上検討委員会」を組織して、児童・生徒の基礎・基本の確実な定着に向けて授業改善、指導方法の工夫改善の取り組みを進めていきます。市民の皆さんのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

中学校

中学校では、国語・社会・数学・理科・英語の5教科について学力調査を実施しました。国語科では全国比が示すとおり、1年生と3年生は概ね全国平均と同等の結果が出ています。2年生は読解力の通過率がやや低く全国平均に達しませんでした。

社会科では3学年全て全

国比が100以下で、定着に課題がありました。特に3年生の公民的分野の定着が低い結果になりました。全体的に資料活用の技能と表現の能力が低い傾向があります。

数学科では、中学2年生の学習内容の定着に課題があります。特に数量・図形の知識が十分でないことが傾向として現れています。

理科も社会科同様、3学年全て全国比が100以下で、



平成17年度
 教育指導課指導係 0824-73-1184
全校一斉学力調査
 平成18年2月上旬、庄原市内の全小・中学校で全校一斉学力調査を実施しました。庄原市教育委員会では、「創造性豊かな人づくり」「心豊かな人づくり」をめざして、知・徳・体の基礎・基本を身につけた児童・生徒の育成に取り組んでいます。

市内全校で学力調査をする目的

市内全学校の小学校1年生から中学校3年生までの児童・生徒の基礎・基本の学力をきちんと把握することで、各学校の先生がそれぞれの学年の課題や状況に応じた授業改善の手がかりをつかみ、確実に基礎・基本を身につけさせる授業を構想します。

学校では「年間指導計画」を立てて授業を進めています。平成18年度の年間指導計画を立てるにあたり、学力調査の分析結果を活用し、一人一人の児童・生徒に「確かな学力」を身に付ける授業を実施します。